

第12週の発生動向(2005/3/21~2005/3/27)

- インフルエンザについては、青森県内すべての保健所管内において**警報**が継続していますが、減少傾向にあります。
- 感染性胃腸炎については、青森保健所管内の40人、弘前保健所管内の61人、むつ保健所管内の41人と多い報告数が続いているため引き続き注意が必要です。

第12週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	348	26.77	325	20.31	344	24.57	128	18.29	313	34.78	366	61.00	1824	28.06	-1339
(60) 咽頭結膜熱											1	0.25	1	0.02	-1
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	2.88	26	2.60	6	0.67	2	0.40	14	2.33	4	1.00	75	1.79	22
(62) 感染性胃腸炎	40	5.00	61	6.10	4	0.44	7	1.40	12	2.00	41	10.25	165	3.93	-31
(63) 水痘	10	1.25	12	1.20	11	1.22	5	1.00	2	0.33	1	0.25	41	0.98	-28
(64) 手足口病	1	0.13			2	0.22			4	0.67			7	0.17	1
(65) 伝染性紅斑	6	0.75			2	0.22							8	0.19	-3
(66) 突発性発しん	4	0.50	5	0.50	2	0.22			1	0.17	3	0.75	15	0.36	-3
(67) 百日咳															
(68) 風しん					1	0.11							1	0.02	1
(69) ヘルパンギーナ															
(70) 麻しん(成人を除く)															
(71) 流行性耳下腺炎	1	0.13			4	0.44	2	0.40	4	0.67	2	0.50	13	0.31	-8
(73) 急性出血性結膜炎															
(74) 流行性角結膜炎							1	1.00	6	3.00			7	0.64	2

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

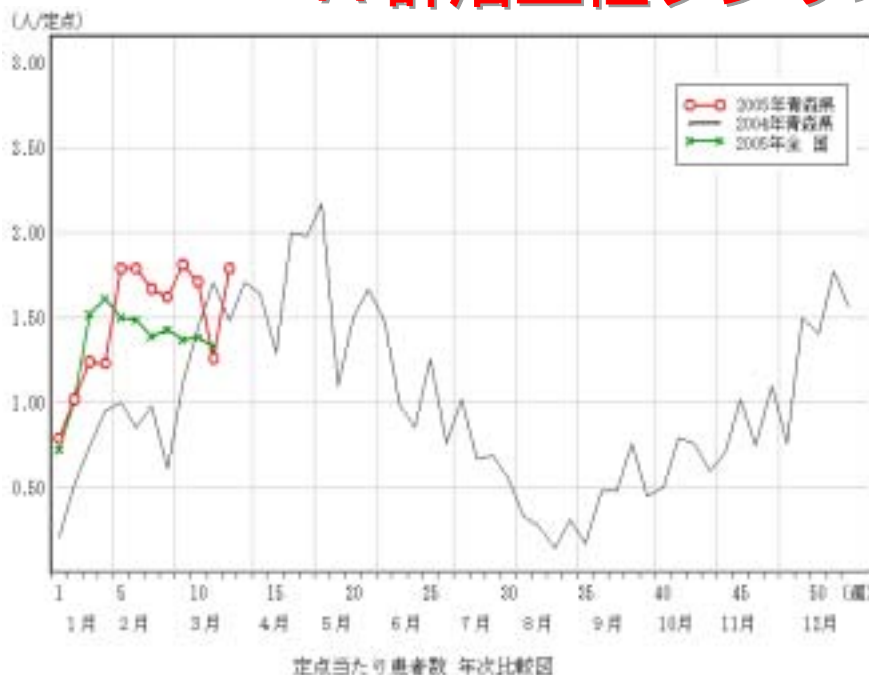
■ は警報 ■ は注意 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

(82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患)八戸保健所管内:1人 (17年計 27人)

感染症の窓

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



病原体 A群溶血性レンサ球菌  
*Streptococcus pyogenes*

症状 発熱(38 ぐらい) 咽頭痛や扁桃痛が強く、悪心、嘔吐。ときに腹痛。

感染予防 菌の飛沫(咳やくしゃみ等)により感染するため学校、家庭などの集団ではうがいをするのが大切です。

青森県では先週に比べ 22 人の増加(先週の 53 人から今週の 75 人)がありました。